

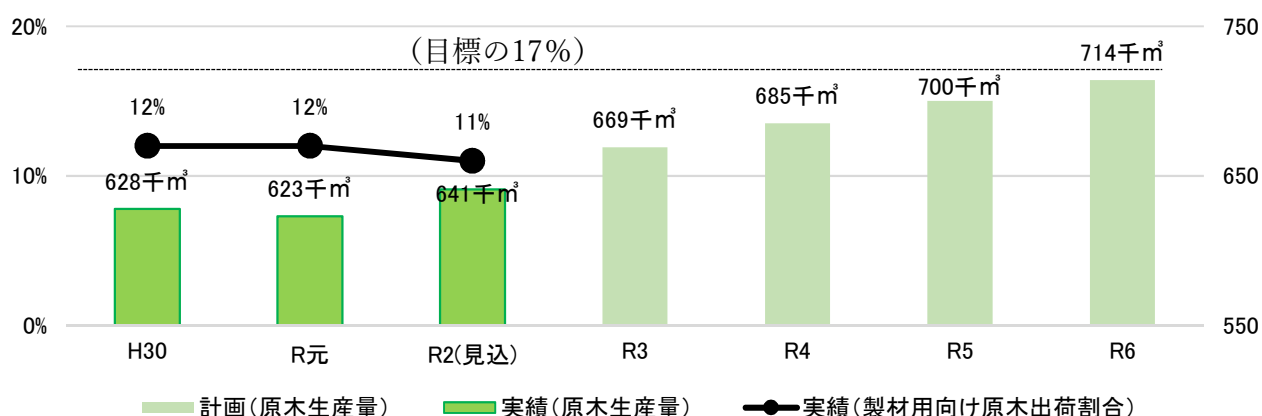
「製材用原木の需要拡大と安定供給」の進捗状況

林業課

○令和2年度末の進捗状況

- (1) コロナ禍において、全国の木造住宅着工戸数が約10%減少する中、原木生産量は増加（見込み）したものの、製材用原木の需要量が落ち込んだことから、出荷割合は平成30年の12%に比べ1ポイント減の11%（見込み）に留まった
- (2) 原木販売額は、製材向け出荷割合の低下等により平成30年に比べ3%の減（見込み）

原木生産量のうち県内製材工場向け製材用原木出荷割合



○主な取り組み

- (1) 原木の価値を高める木材流通の拠点となる中間土場が新たに9箇所整備



整備された中間土場



- (2) 木材製品の増産に向けた製材工場の施設整備等を5工場で実施